



福祉施設対策委員会 ニュー入

No2012-06
2013年
3月15日



松江赤十字乳児院

二交代勤務が試行開始されて早2年！今後は・・・

今、現場では揺れています。松江乳児院は、基本三交代で夜勤をこなしていましたが、2011年の1月より年長児クラスの夜勤を二交代勤務ですが、子どもにとってメリットがある（夜寝かせ付ける人と、朝起こす人が同じ方が子どもに安心感を与える。）として試行に踏み切りました。実際勤務をやり始めると、夜勤待ちの休日が減り良いと思っている人、眠れなくて体がきつい、長時間拘束で家族に負担をかけているなど、思いは人それぞれです。院長は、無期限で試行状態（二交代）を続けるよう圧力をかけてきます。

そろそろこの状態に決着をつけるために、皆でじっくり話し合いたいと考えています。すべての夜勤者が納得のいく結論が出ることを願っています。

本社労使協議会報告②

1. 国や自治体に対する福祉政策充実に関する働きかけについて

児童福祉政策の充実に向けて国や自治体に対して、積極的に働きかけをし、その為の意見交換を行いたいと要請しました。また2015年から始まる新システムについても言及し、現場の不安や制度の問題点を訴えました。これに対して本社は現場の意見を聞きたいと言うに留まりました

2. 各福祉施設への国・自治体からの措置費等を含む財政収入について

人員配置基準の引き上げの事では、24年4月に僅かながら改善されたが、それでもまだ足りないと伝え、本社としても国や自治体に配置基準の引き上げを意見してほしいと伝えました。これに本社は、現場の意見として聞いておくと回答しました。

3. 日赤としての福祉施設の今後について

各施設の財政支援について、「児童福祉施設機能強化交付金」制度を復活してもらいたいと訴えました。これに対して本社は、「財政状況が厳しく、予算付けは難しい。財源の事も考え対応していく」と返答しました。また、医療センター乳児院より、「日赤の児童福祉施設では障がい児が増えている。夜間看護師2人体制にしてほしい、公休も取れない現状を改善してほしい」と訴え、人員確保に対する交付金制度の構築を要望しました。本社は現場の意見を聞いていきたいと答えるにとどまりました。

4月はさかえ保育園の掲載を予定しています。